

睡眠時無呼吸症候群

睡眠時無呼吸症候群とは？

睡眠中に「呼吸が止まる」・「呼吸が浅くなる」の状態が繰り返され、眠りが浅くなる病気です。

その状態が続くことで、心血管・循環器系に大きな影響を及ぼし、高血圧・心不全・脳卒中・2型糖尿病・肥満症などさまざまな疾患のリスクとなります。

また、「日中の眠気」や「集中力低下」の原因となり、運転業務に従事する方は、診断や治療の報告が義務となっている事業所もあります。

このような症状がある時はご相談下さい

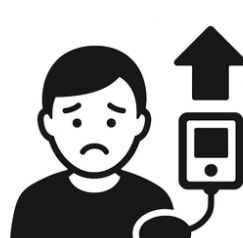
体型は関係ありません。日本人の場合は、痩せている方でも疾患の可能性が高いです。



いびきが
大きい



寝起きが
スッキリしない



血圧が
下がらない



運転中に
眠気が強い

検査とCPAP治療

簡易検査

簡易検査では、睡眠中の呼吸・心拍と酸素濃度を測定し、睡眠の状態を調べます。

精密検査では、より詳しく正確に、睡眠時の呼吸状態や睡眠の深さなどを検査します。

約3,000円

精密検査

約12,000円

(入院で行う場合は、3~5万円)

(全て3割負担の場合の自己負担の目安額です)

CPAP治療

自宅にCPAP装置を設置し、毎晩の睡眠記録を蓄積し、外来で効果を確認します。

約4,500円/月

当院の特徴として、検査は入院することなく、皆様の自宅で行うことができます。そのため、入院するよりも費用負担が軽く、いつもの睡眠環境で安心して検査が出来ます。もし、要治療の結果となった場合も、継続した外来診療が可能です。